

第19回農作物病虫害防除フォーラム ～今後の発生予察を考える～

開催要領

1 開催趣旨

農作物の病虫害を防除する上で最も重要なことは、病虫害の発生状況に応じて適期に防除を行うことであり、農林水産省は都道府県の協力のもと、病虫害の発生状況を調査し、その後の発生動向を予測する発生予察を実施している。

発生予察の手法については、新たに発生が確認された病虫害や、気候変動等に伴い発生動向が変化した病虫害に対応するとともに、新たに解明された病虫害の生理生態に関する知見や技術を活用し、より効率的に精度の高い予測となるよう見直しを行っている。

本フォーラムでは、これらの取組で得られた新たな成果から、国や都道府県が行う広域の発生予察だけでなく、地域単位で行う発生予察にも活用可能な技術を報告し、地域における発生予察の取組を推進する。

また、一方で、国や県の発生予察の情報を活用して、すでに地域における発生予察を実施し、地域の実態に即した精度の高い防除を実施している先進的な取組もあり、病虫害による被害を効率的・効果的に軽減し、安定した収量を得るために、このような地域の取組について紹介するとともに、これら取組の拡大に向けた意見交換を行う。

2 開催日時

平成25年7月1日（月） 13:15 ～ 17:30

3 開催会場

農林水産省講堂（本館7階）

4 参集範囲

病虫害防除に携わる又は興味のある行政、試験研究機関、普及指導機関、メーカー、団体、生産者等

5 座長・講演議題・講演者

座長 茨城県病虫害防除所 発生予察課長 岡部 克 氏

（1）発生予察手法の見直し

- 1 水田内雑草の発生量に基づくアカスジカスミカメの被害防止対策
宮城県古川農業試験場 上席主任研究員 加進 丈二 氏
- 2 小型顕微鏡を用いたトマトすすかび病のほ場での病害診断
三重県農業研究所 主任研究員 鈴木 啓史 氏
- 3 カンキツ黒点病の防除適期判定に用いる簡易雨量計の製作法
愛媛県病虫害防除所 担当係長 奈尾 雅浩 氏

（2）地域における発生予察の取組

- 4 大豆のマメシンクイガによる被害軽減対策の確立と生産現場への普及
北海道農政部技術普及課北見農業試験場駐在 主査 上堀 孝之 氏
- 5 発生予察情報に基づく茶のクワシロカイガラムシの適期防除指導
神奈川県農業技術センター足柄地区事務所 技師 木村 仁美 氏
- 6 「くだもの情報」の発行による病虫害の適期防除指導
新潟県巻農業普及指導センター 主査普及指導員 原 道雄 氏

（3）総合討論

6 その他（出席の申込み・お問い合わせ先）

出席を希望される方は、6月24日（月）までに別添の申込書により、以下の事務局へFAXによりお申込みください。なお、応募者多数の場合は出席希望の多い機関に対して出席者人数の調整をお願いするとともに、さらに必要な場合には、事務局にて厳正に抽選を行います。この結果、御出席をお断りする方に対して、6月26日（水）までに、その旨を電話又はFAXで御連絡いたします。

【お問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局植物防疫課防除班（中西、後藤）

電話番号：03-3502-8111（内線4562）、FAX番号：03-3502-3386

